

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月17日(木) 19:00～21:40

会場

門脇中学校 体育館

参加者数

約520名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
南浜地区の方は、いつ、どこに家を立てることができるのか。非可住地の買上げや代替地は考えているか。	新市街地に集団防災移転促進事業で移転する方法、もしくは門脇地区で行う土地区画整理事業で生じた空き地等(土地区画整理事業地内の保留地)に移転する方法がある。または、3000戸建設する計画がある災害公営住宅に入居する方法がある。
南浜地区を公園とするということについて、地権者の意向は聞いているか。	被災者の方々へのアンケート調査のほか、町内会長や町内会役員等との意見交換会(インターネット、新聞等で周知)の中で、公園化について概ね了解を得ている。24日から33回にわたり、地権者との意見交換会を行う。
南浜地区を非可住区域としているが、その理由は。人が住めるような計画にしてほしい。	今回のような最大級規模の津波は7.2mの堤防や防潮堤でも防げないので、住民の安全、安心を確保するために非可住区域としている。
門脇町の可住区域の方が、今後、同じ所に住みたくない場合、新市街地へ移転することは可能か。	新市街地への移転は非可住地域、工業エリアとなる方々を対象に考えており、可住区域(八間道路の北側は可住区域)の方の移転等は考えていない。
今回のような津波を防げない防波堤をなぜ造るのか。他に費用を回した方が効果的では。	数十年から百数十年に一回程度発生すると想定される津波を防ぐため、宮城県が全体を考えて高さを決めている。
堤防で囲まれたまちの魅力は。人を守るようなまちづくりを目指してほしい。	多くの市民の命を失ってしまったことから、まちの安全性を考え堤防の整備が必要である。景観を大事にした堤防を造りたい。
堤防の高さについて、津波のシミュレーション等により、どの高さであれば被害を少なくできるかが示されていない。	シミュレーション結果について、公開する。
土地が買取される場合の評価額は。	国の方針がまだ示されていない。

質問・意見	回答
高層の避難ビルの建設を考えていた だけないか。	早急に検討していきたい。
避難ビルの具体案があれば教えてい ただきたい。	各浸水地域に存在する民間や今後整備する公共施設を一時的に避難す る場所として、水や食料、毛布等を保管するなどの整備をするもの。各 地域に民間施設の協力をいただきながら対応していきたい。
高盛土道路は、具体的にどこを通るの か。高盛土道路が通る位置などは地権 者説明会ではっきりと示されるのか。	測量等が必要だが、概ねの位置について説明会で提示する。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
仮設住宅の入居期限は。	現在の制度では入居してから2年である。一年毎に延長を判断するとの 国からの通知が来ているので、甚大な被害を受けた市として、延長の必 要性を国に訴えている。
仮設住宅での健康問題や自殺などの 問題について、どのように対応してい くのか。	健康、心のケアなどについて、サポートセンターを利用した各仮設住宅 の訪問等を様々な団体等を活用して対応する。

未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
早く学校を再開してほしい。	11月1日から、学校の現状と今後の方向性の説明を保護者対象に行っ た。今後は、在校保護者だけでなく地域の皆様の意見をいただき、教育 委員会で最終的な案を作成していく。今年中に計画を打ち出し、進めて いく予定である。
各仮設住宅から、学校へスクールバ スを出してほしい。学校から送迎は 遠慮してほしいと言われている。	各仮設住宅から学校へバスを運行させる場合、多数のバスが必要となり、 対応が非常に難しいため、父兄の方々に送迎をお願いしている。早く子 どもたちに地域の学校に通えるよう対応していく。

その他

質問・意見	回答
市長の動きが市民には見えない。	国に行って予算を引き出すための説明などに努めている。市の事業は、 市長が直接国へ出向き説明しないと予算がつかない。
少数の意見を聞いたところで、意見 交換会と言えるのか。	各種アンケートの実施のほか、市民検討委員会で様々な意見いただき作 成した素案であり、23日までパブリックコメントを実施し、インターネ ット等で意見を求めている。意見を取りまとめ、年内中に計画書を確定 したい。